

野蒜復興新聞

笑 顔 あ ふ れ る 再 出 発

まちびらきまつり 盛大に開催

10月15日(日) 野蒜市民センター周辺にて、野蒜ヶ丘まちびらきまつりが開催されました。

扉のオープン！児童らと野蒜北部丘陵振興協議会会長ほか、多くの来賓の皆さま



迫力ある太鼓の演奏



各地区のみこしパレードに沿道からは大きな声援



美味しい匂いに行列



熱いパフォーマンスに観客は大盛り上がり！



宮野森小学校の児童による「ふるさと宮野森太鼓」の後、開会セレモニーがスタート。まつりの実行委員長の前川宏さんより「野蒜ヶ丘はようやく再出発を迎えることができた」「新しいふるさとづくり、新しいまちづくりを、野蒜一体となり協力して進めていきたい」と挨拶がありました。続いて、ドローンを使用した演出で「鍵」が届けられると、来年度に宮野森小へ入学予定の児童らも参加して、まちびらきを象徴する「扉」が開けられました。

開会後は、子供達によるみこしパレードが続きました。野蒜各地区より5台のみこしが出され、野蒜ヶ丘周辺を元気に練り歩きました。ステージでは、震災以降交流を続けてきた大田区の方々や、地元の方々らの力強いパフォーマンスが続きました。出店では、地場産品はもちろん、関係団体からも工夫を凝らしたブースが立ち並び、賑わいを見せました。多くの来場者が復興を祝い、思い思いにまつりを堪能しました。

みんなの力で
おまつりは
大成功だね！



野蒜まちづくり協議会 イメージキャラクター マックん

地域のアクティビシニアや障がい者の方々を積極雇用し、枝豆やトマト等を栽培。今後は、ブルーベリー等の観光果樹園運営も予定されています。事務所の名称は、鳴瀬第二中学校と野蒜小学校校歌の一部、「幸に満つる、郷、野蒜」を引用。この地の思いを引き継いでいきたい、との願いが込められています。所長の稲葉浩さんからは、「働く人が充実感を得られる職場にしていきたい」「土地を有効活用し、地域活性化につなげたい」と、挨拶がありました。



▲ 開所式当日の事務所の玄関

9月26日(火)、農業栽培拠点「幸 満つる郷」KD D I エボルバ野蒜」開所式が、野蒜西余景の事務所に開催されました。

被災元地から

「幸 満つる郷」へ

野 蒜 北 部 丘 陵 振 興 協 議 会

野蒜ヶ丘各自治会発足

明るく住み良いまちへ

9月30日、野蒜ヶ丘一〜三丁目の各自治会設立総会が開催されました。一丁目自治会は佐々木正男会長、二丁目自治会は渡邊克己会長、三丁目自治会は伊澤義男会長が就任しました。

総会では、自治会規約、自治会役員、事業計画、収支予算に関する議案が説明され、参加者の拍手多数で承認されました。

また、野蒜ヶ丘地区3自治会の協議機関の創設についても話されました。協議機関は、各地区の自治会長及び副会長で構成し、情報の共有や大きなイベントを合同で開催するなど、お互いに親睦を図る目的で、10月9日に「野蒜ヶ丘連絡会」として設置され、代表には二丁目の渡邊克己会長が選出されました。



▶一丁目自治会設立総会は、野蒜市民センターで行われ、24世帯（26名）の方が参加されました。

▶二丁目自治会設立総会は、野蒜ヶ丘中央集会所で行われ、71世帯（73名）の方が参加されました。

▶三丁目自治会設立総会は、野蒜ヶ丘西部集会所で行われ、34世帯（34名）の方が参加されました。

野蒜想いのリレー

「平和なふるさとに」

鹿野 義照

野蒜ヶ丘に真新しい家々が建ち並び、復興住宅再建も完結の時が近づいてきました。

この九月末までには、自治会組織もできあがりました。これらをとりまとめ、これに尽力された役員、関係者の皆さんに「ご苦勞様でございます」と、私は一市民の立場から、感謝の意を表したいと思っています。

さて私たちは、一人一人ここの野蒜の地に住み、生きて働き、学び、そして行動しています。ですから、健康で日々おだやかな生活を送り、向こう三軒両隣、仲良く、争いのない日々を過ごす必要があります。

とここで先日、びっくりしました。市の防災無線の放送で「ミサイル飛来に備えた防災訓練のため、サイレンを鳴らします」という放送がありました。

これは大変な世の中になってきたものだ、と思いました。まちがっても、戦争になる、などということはない、あつてはなりません。今、私達は、新しい町づくり、地域づくりをしようとしているところです。

それには、なんとして平和な日常が必要で、その上で「自分自身」が町づくりの主役になるのだ」という意識をもつて、取り組むことが大切でしょう。

現実の生活の場面では、矛盾も多く、「毎日働くのに精一杯だ」とか「住宅ローンの返済に追われる」など、厳しいこともあります。しかし、自分たちの力で、この現実を変えていくようにしたいものです。

そして新しい町が平和なふるさとに発展していくように、お互い頑張っていきたいと思えます。

野蒜北部丘陵振興協議会解散

「きめ細やかなコミュニケーション目指す」

野蒜ヶ丘各丁目自治会設立を経て、野蒜北部丘陵振興協議会は10月31日をもって解散されました。野蒜北部丘陵振興協議会の齊藤均会長と齋藤剣一副会長は引き続き、野蒜ヶ丘連絡会顧問として、野蒜ヶ丘のまちづくりに注力されます。

野蒜北部丘陵振興協議会解散を迎えるインタビュー

齊藤均会長 当初より住民参加型のまちづくりを目指してきた。子供から高齢者まで住民全員がの役目があり、みんなが自治会に参加できるように、幅広く意見を聞いて、協議会を進行してきた。今後、きめ細やかなコミュニケーションを目指す。

野蒜北部丘陵振興協議会解散に伴い、この野蒜北部丘陵振興協議会ページは、今月号で終了となります。ご愛読ありがとうございました。